

第9回

「新型コロナウイルスの影響に関する緊急実態調査」

報告書

令和3年（2021）年2月

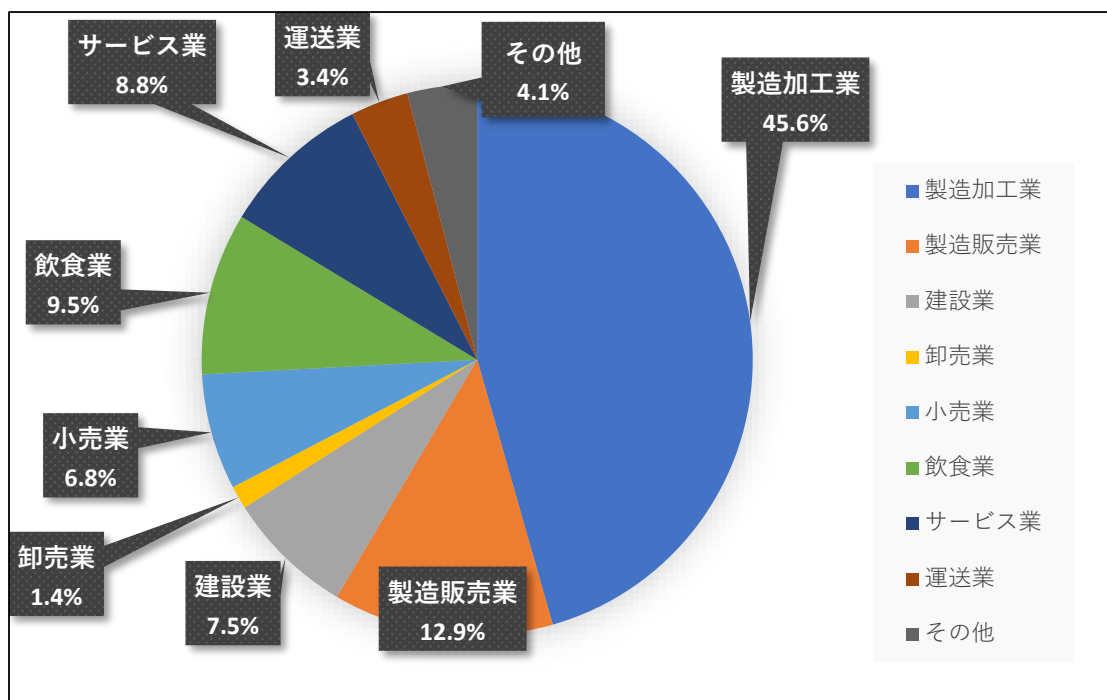
加西商工会議所

調査概要

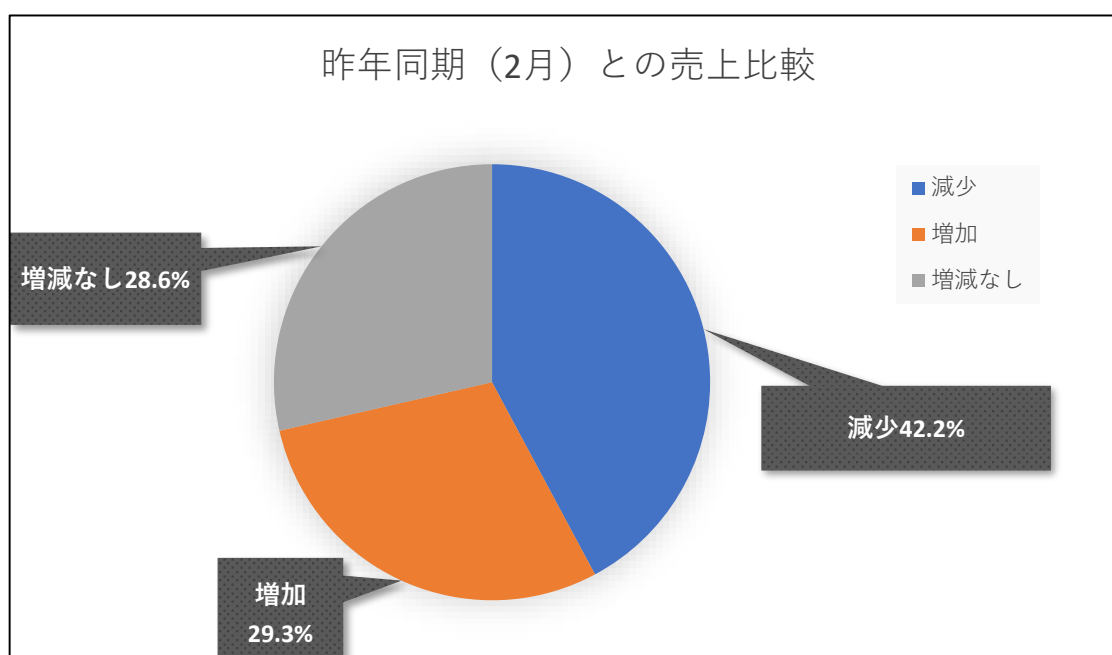
- 1 調査目的** 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、企業経営への影響について、その実態を把握することにより、今後商工会議所事業を行う上での基礎データとするため。
- 2 調査期間** 令和3年3月8日～令和3年3月11日【4日間】
- 3 調査対象** 272件
製造加工業（90件）
製造販売業（39件）
建設業（33件）
卸売業（7件）
小売業（38件）
飲食業（16件）
サービス業（36件）
運送業（7件）
その他（6件）
- 4 調査方法** 調査票をFAXにて送信し、FAXにて回答
- 5 有効回答数** 147社（回答率54.0%）

調査結果

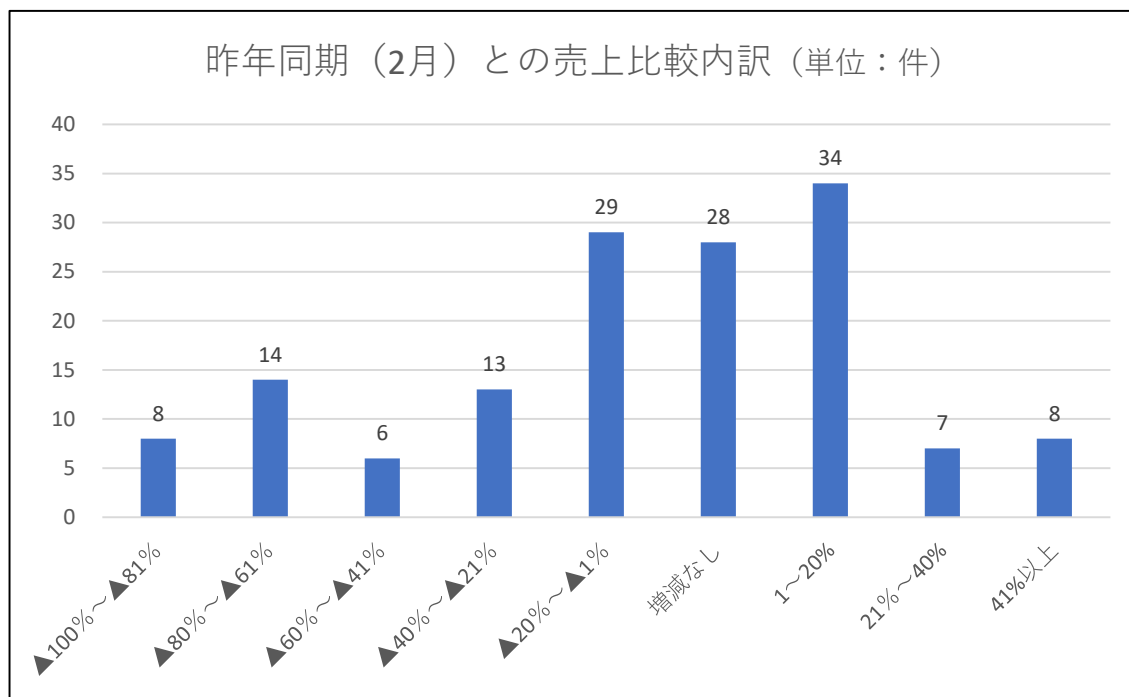
【回答企業の業種別構成】



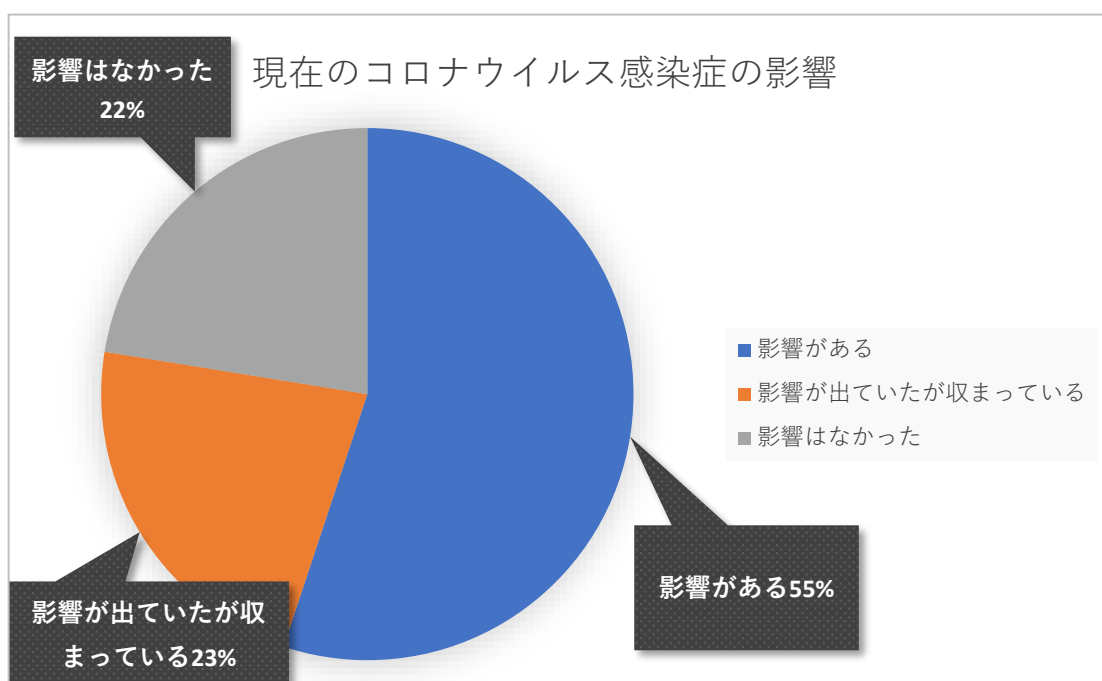
(1) 昨年同期（2月）との売上比較



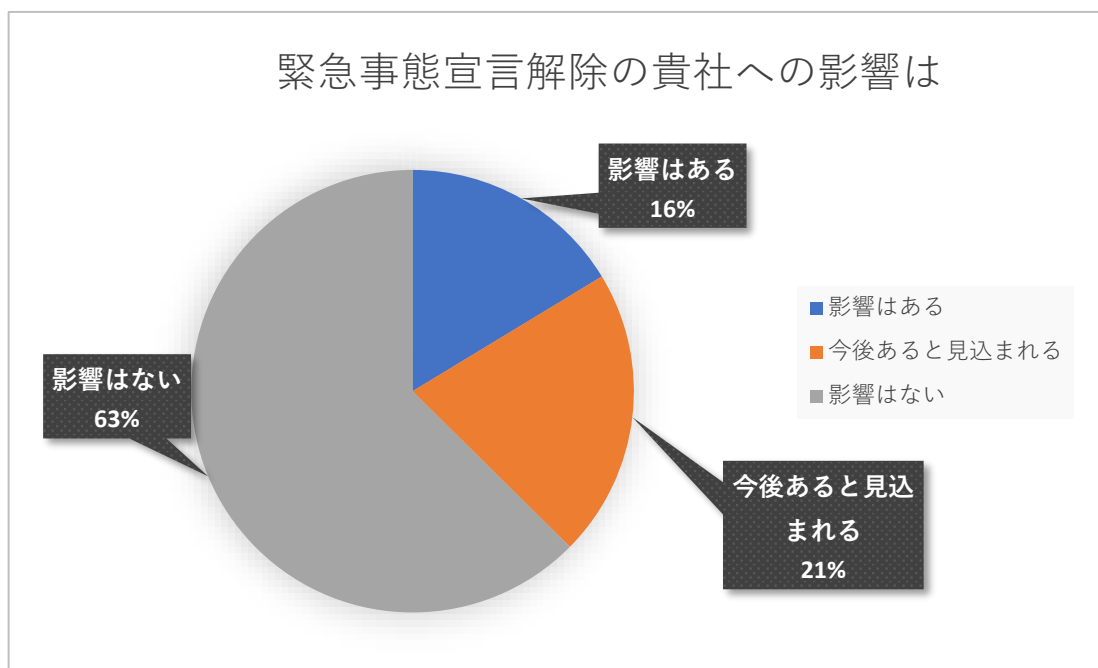
(2) 昨年同期（2月）との売上比較内訳



(3) 現在、新型コロナウイルス感染症の影響はありますか



(4) 緊急事態宣言の解除は貴社への影響はありますか

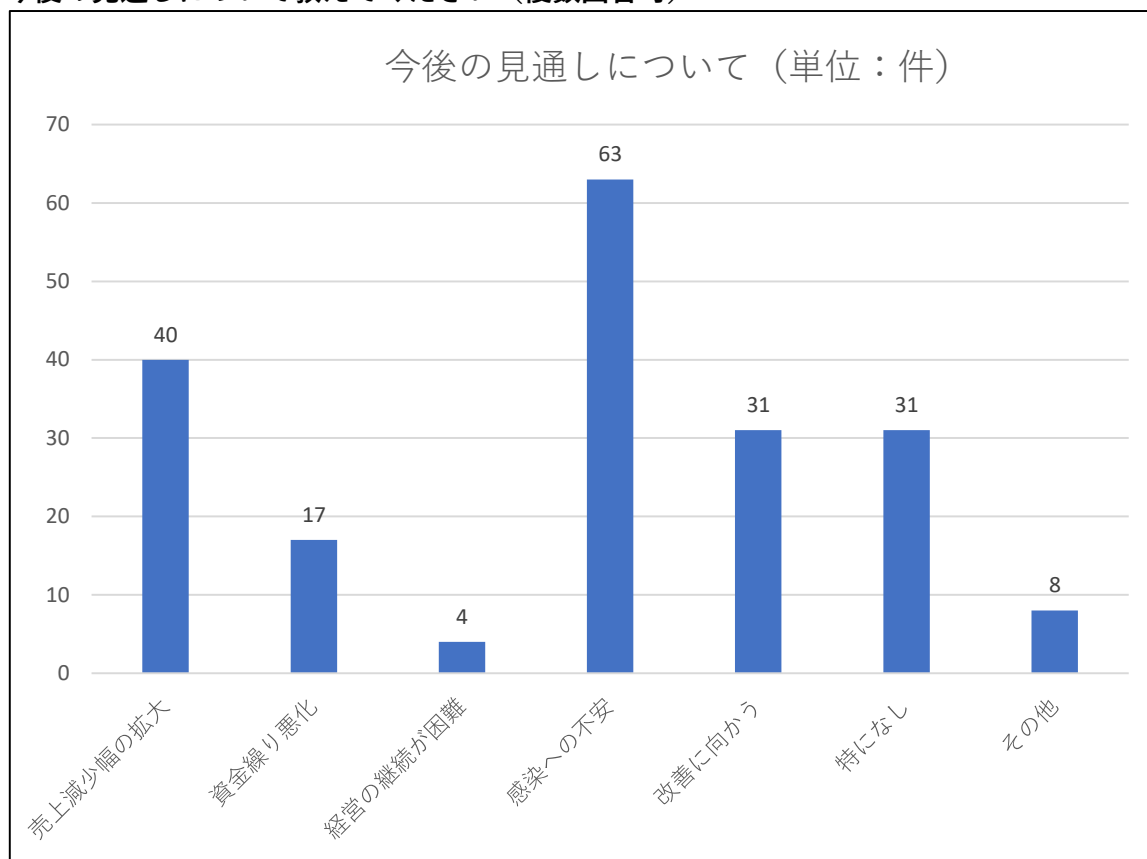


(5) どのような影響があると考えられますか

製造加工業	売上の減少、受注の増加、完全に戻るまで長引くと思う、出張が可能になる、建築需要の減少、県外への営業活動ができる、取引先の業績、少しましになる、コロナ禍で病院の手術が減少、医療機器の受注が減少、出張先の一部解除
製造販売業	出張の自粛継続、商業施設の店舗閉鎖による売上減、販売店の営業活動が再開、補助金関係に左右される、工場稼働による受注の変動、売上が回復
建設業	受注している物件が始動すると思う、売上回復、仕事量の減少、工事の減少、棟上げ延期
卸売業	活発な経済活動再開
小売業	外出（外食）の自粛がどの程度継続されるか分からない、わずかな希望、需要回復、イベントの減少、来館者の対策意識が低下傾向にあり安全面が危惧される
飲食業	少しずつ改善されることに期待、客足が戻ってくるという期待感を抱いている、売上減少、営業時間、人の流れ、時短営業の解除、利用者の復活、宣言が解除されたあと飲食店など直営店舗の売上が回復

サービス業	納期の時期を急がされる、冠婚葬祭等の規模の縮小・中止、労働時間の減少
運送業	仕事量の減少
その他	お客様との関係もほぼ通常に戻りつつある、

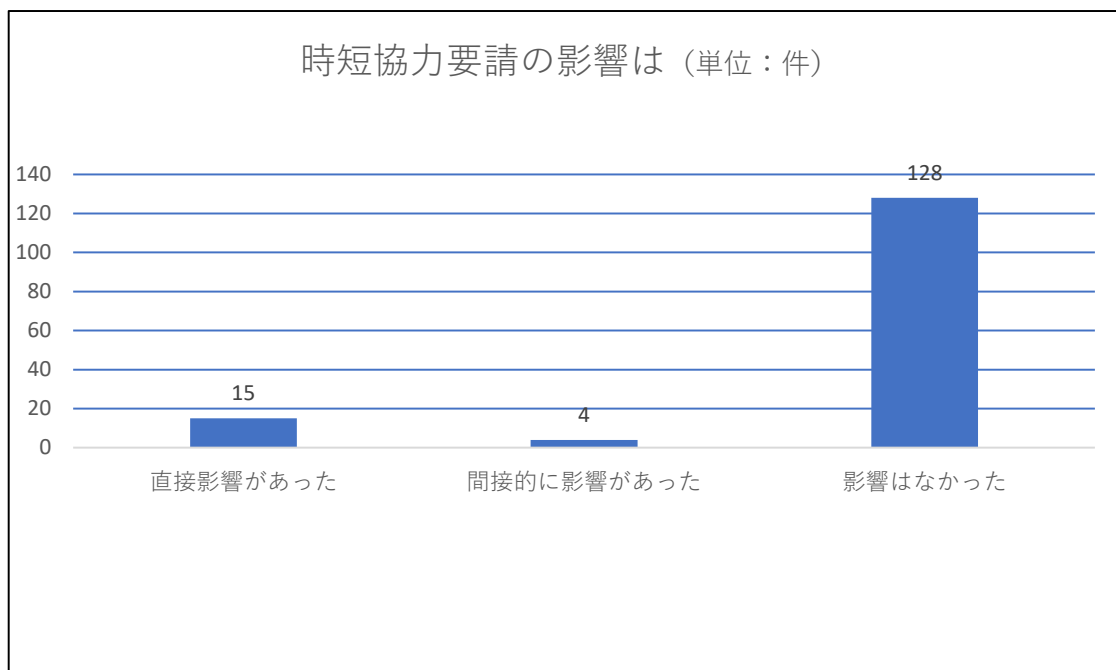
(6) 今後の見通しについて教えてください（複数回答可）



※その他

通常売上への回帰、減少の継続、個人における資金繰り相談が増加すると思われる、対面営業が難しい、不透明、増税への不安、売り上げの減少、改善に向かうことを期待

(7) 県からの時短協力要請は貴社に経済的な影響はありましたか



(8) 時短協力要請の影響について

飲食店やそのお客様から全く注文がこない、交通量の激減、売上減少、客足減少、営業時間が短いので来店につながらない、雇用維持が難しい、エンドユーザーである飲食店の時短もしくは休業、大人数での会食の減少による売上低下、自宅での法事の中止（飲食できないため）、時短は営業休業、売掛金の回収が滞る、取引のストップ

(9) 今後新型コロナウイルスの対策に向けて期待する公的支援策は

